

富山市明輪町地内（本社西側部）の開発について

2022年6月

あいの風とやま鉄道株式会社

当社用地である本社西側の旧北陸本線敷地等について、周辺道路の整備がなされることや周辺には富山駅をはじめ大規模商業施設、文教施設、公園などが配置されており、今後も歩行者等の流動の増加が見込まれることから、商業店舗など富山駅周辺エリアの賑わいづくりに資する開発を進めることとし、開発主体となる事業者の公募選定を行ったもの。

1 公募の概要

(1) 開発エリア(別紙1)

- ・面積 約2,714m²
(内訳) 旧北陸本線敷地約2,238m²
あいの風とやま鉄道線高架下敷地 約476m²
- ・用途地域 商業地域、隣接商業地域

(2) 公募期間 2022年4月22日(金)～2022年5月25日(水)

(3) 応募件数 1件

2 開発予定者の決定等

当社に設置した選定委員会において、提出書類の審査やヒアリングを行い、その内容が適切であると評価され取締役会で承認された。

- (1) 事業者名 富山ターミナルビル株式会社(代表取締役社長 水田 整)
- ・本社所在地 富山市桜町一丁目1番61号
 - ・「MAROOT(マルート)」、「きときと市場とやマルシェ」を運営

(2) 開発の方向性(別紙2)

○富山駅周辺の各エリアのリレーションシップを創出し、駅西エリアのポテンシャルを上げる。その結果、富山駅周辺エリア全体の価値向上を目指す。

<「まち歩き」のお手伝い、普段のリフレッシュの場として活用>

駅周辺エリアの周遊、散策コースの中継スポットとして便利な飲食店やカフェ、物販・自動販売機等を集積。さらに近隣住民が集う居心地の良い『憩いの場』として、公園の延長のように各々が思い思いの時間を過ごせる拠点をを目指す。

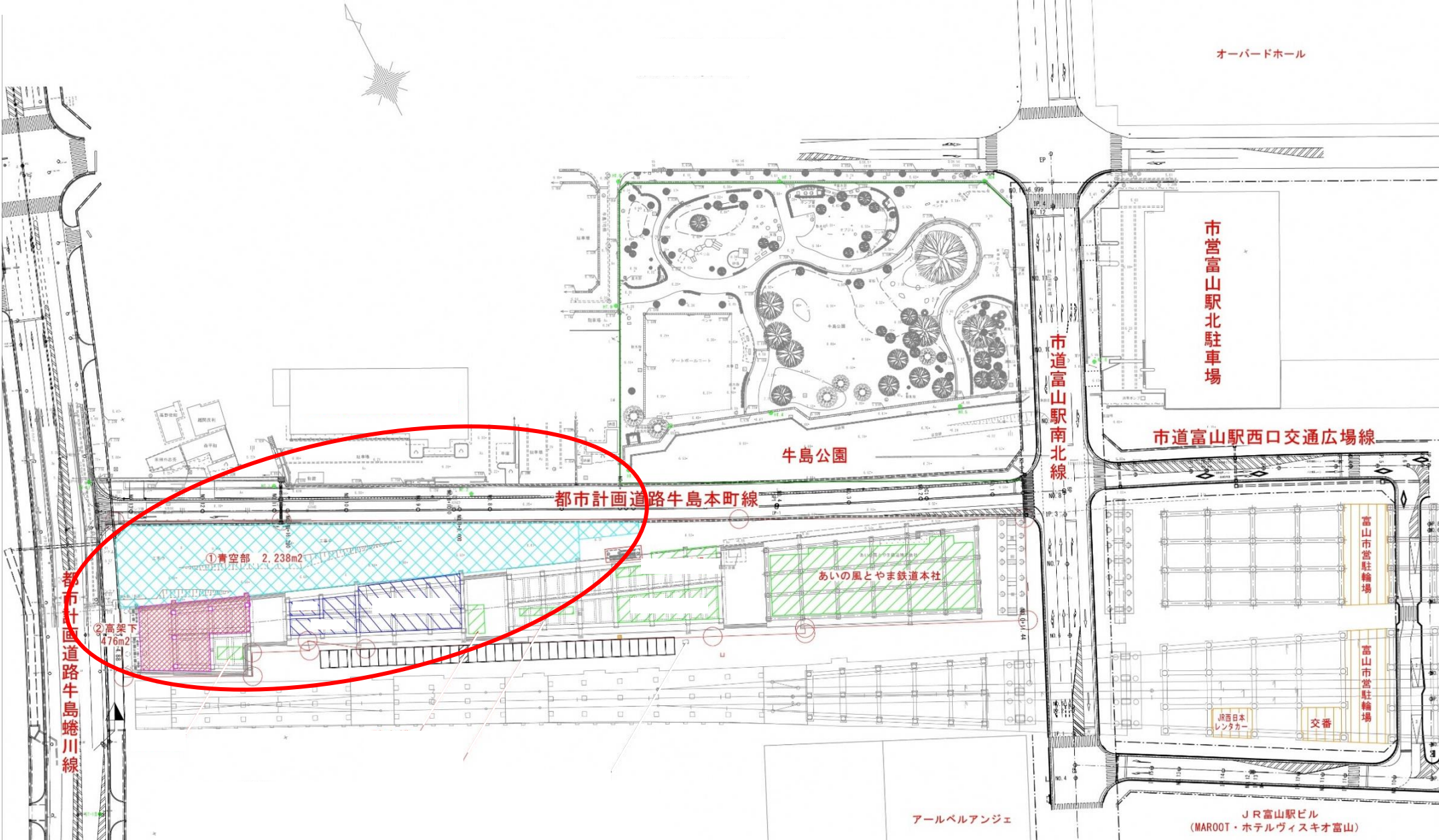
<車利用者との接点を拡げ、日常生活の支えとなる>

車での来街者に向けた富山のライフスタイルに沿った提案や、スローライフを楽しむための業種を配置。さらに毎日の通勤や外出時のライフサイクルに沿った、暮らしに関連するデイリー性の高い物販・必要なサービス業種を集積。周辺エリアに不足し、ニーズが高い業種を盛り込み、お出かけのついでにお手軽に用事を済ませることが可能な施設とする。

3 今後の予定

- ・7月以降、開発基本協定の締結。2024年春の開業を目指す。

富山市明輪町地内開発区域 平面図



MD 計画

周辺環境、周辺の流れや世代を意識し、各ゾーンごとに目的性を意識した MD 計画とします。
この施設を拠点とし、周辺施設から人々が集まり、この施設によって新たな発見をする。
そんな人々の新たな活動を促すゾーンを構成します。



別紙 2

人々の生活を支える。

中央ゾーン

郊外居住者、駅周辺利用者(近隣生活者、ワーカー)のための
デイリーライフサポートゾーン。

「西ゾーン利用者」と「東ゾーン利用者」の両方にとってのデイリーライフ
サポートゾーンとする。
駅周辺エリアに不足している業種で、日々のライフサイクルに寄り添う、ちょっと
したお役立ちスポットとなるショップを誘致する。

車からの視認性も意識した配置。
施設の顔となるテナントを誘致し
人々を呼び込む。

建物前のひろばで
待ち時間を楽しむ。

駅利用者
近隣ワーカー
文化施設利用者を
引き込む。

牛島公園との相互利用を生み出し、
「目的」と「憩い」の融合により
郊外店との差異化を図る。

「富山らしさ」を感じる。

憩いの場となる。

西ゾーン(牛島蛭川線)

地域居住者が行き交う生活道路からの導入口。

太い車導線に現れる「駅の導入口」としてのランドマーク。
富山らしい、環水公園・牛島公園でのアクティビティやアウトドア、
スローライフに役立ち、日常的に利用可能なショップを誘致する。
併せて飲食・食物販ショップとの繋がりをはかる。



東ゾーン

駅周辺、オフィスワーカー、駅北西施設等利用者の
3方からの導入口。

駅周辺利用者(駅南エリア)、近隣のオフィスワーカー(駅東エリア)、
駅北西の文化施設の利用者(駅北西エリア)といった三方からの導入口。
牛島公園と近接していることを生かした、開放的で自然が感じられる
居心地の良い「憩いの空間」となるショップを誘致する。

